

難しさを増す政権取材

「追及する必要がある」

人権団体イベント

日本の言論と表現の自由
について、国連特別報告者
が改革を勧告したことを受
け、人権団体「ヒューマン
ライツ・ナウ」は十四日、
東京都内でメディアの独立
と報道の自由を考えるイベ
ントを開いた。登壇した記
者が政権取材の難しさなど
を報告した。

デービッド・ケイ国連特
別報告者は六月に発表した
報告書で、報道が特定秘密
保護法などで萎縮している
可能性に言及し、政府が放
送局に電波停止を命じる根
拠となる放送法四条の廃止
を勧告した。メディアに対
しては、記者クラブ制度が

情報の広範なアクセスを妨
げているとした。

東京新聞社会部の望月衣
塑子記者は、菅義偉官房長
官が毎日開く定例記者会見
に参加し、繰り返し質問を
続けていることを報告。
「権力を監視するため
に私たち記者がいる。彼ら
が言いたくないことを追及
する必要がある」と話し
た。

朝日新聞政治部の南彰記
者は、望月記者が菅氏に質
問を繰り返す中で、会見が
途中で打ち切られることが
多くなったと指摘した。
「このままでは政権に不都
合な質問をしようとする
記者が現れなくなる。会見
の場で政府の見解をただ
すことは重要だ」と訴え
た。